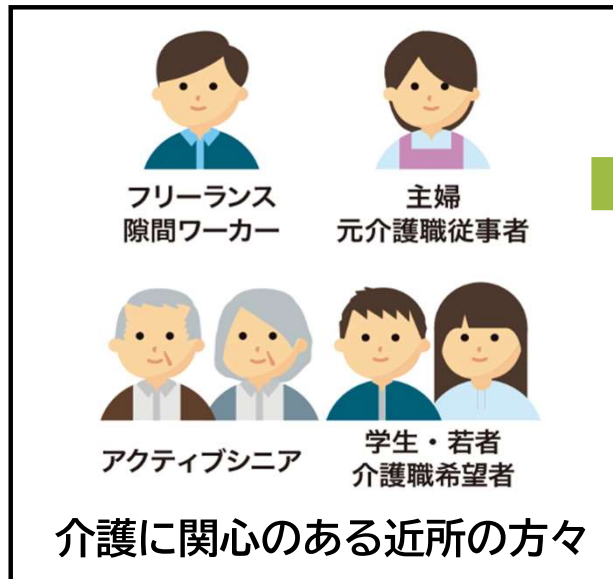


連携協定によるトライアル

・登録無料

レク、傾聴、配膳下膳、お皿洗い、
ドライヤー、お茶だし、事務などの周辺業務



マッチング



Sketter



連携協定

北九州市

・月額利用料が必要

・お手伝いを有償依頼



登録呼びかけ

参加呼びかけ

北九州市 Sketter 第2期トライアル (R7.8~R8.1)

第2期トライアルは、料金がマッチング回数で変動します

■当初3か月間は無料、その後、基本利用料5,000円／月

※マッチングがない場合でも課金されます

※第1期トライアル参加事業所も引き続き参加できます

(第1期トライアル参加事業所は当初3か月間無料特典はありません。ご了承ください。)

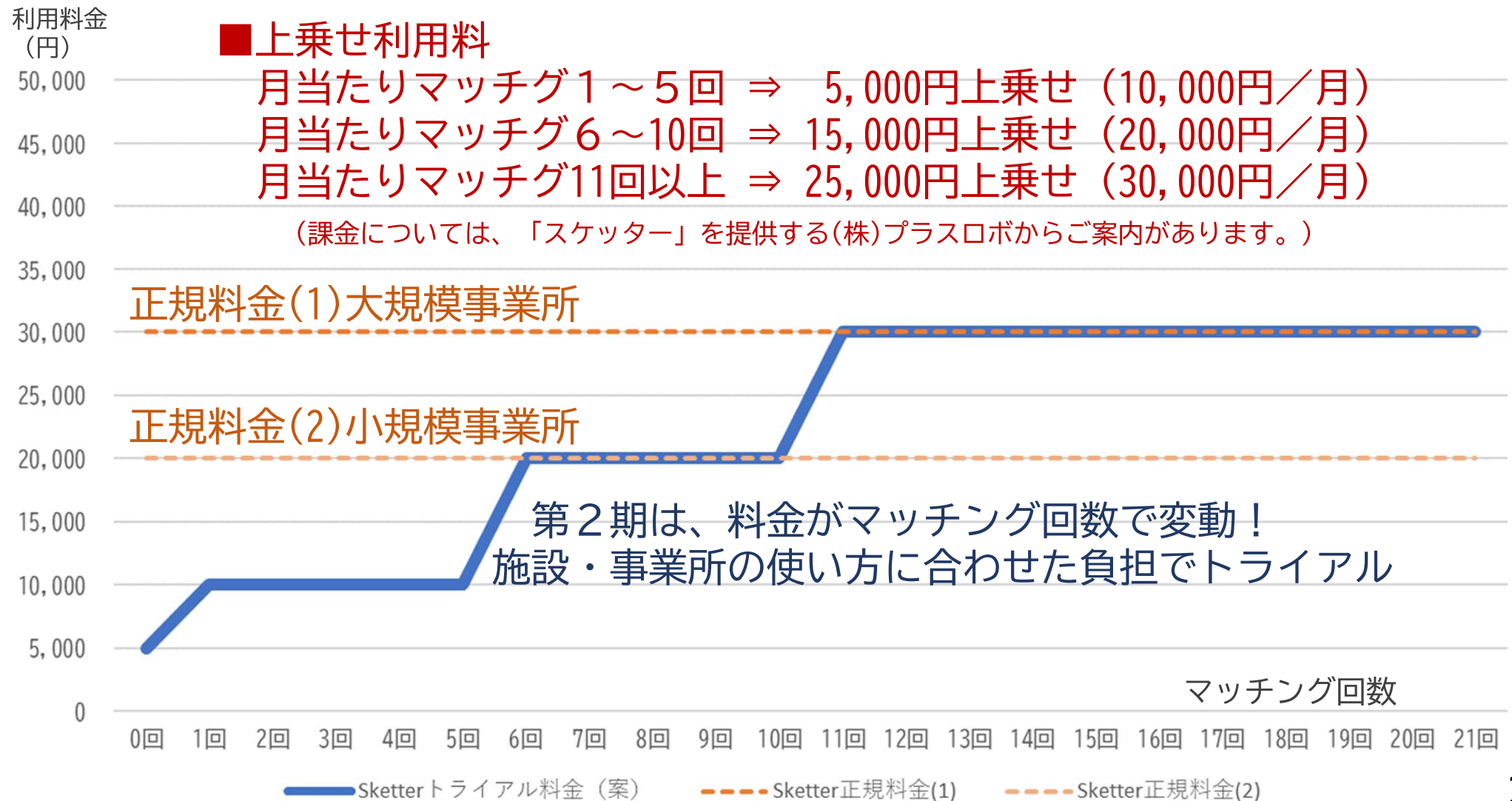
■上乗せ利用料

月当たりマッチング1～5回 ⇒ 5,000円上乗せ (10,000円／月)

月当たりマッチング6～10回 ⇒ 15,000円上乗せ (20,000円／月)

月当たりマッチング11回以上 ⇒ 25,000円上乗せ (30,000円／月)

(課金については、「スケッター」を提供する(株)プラスロボからご案内があります。)

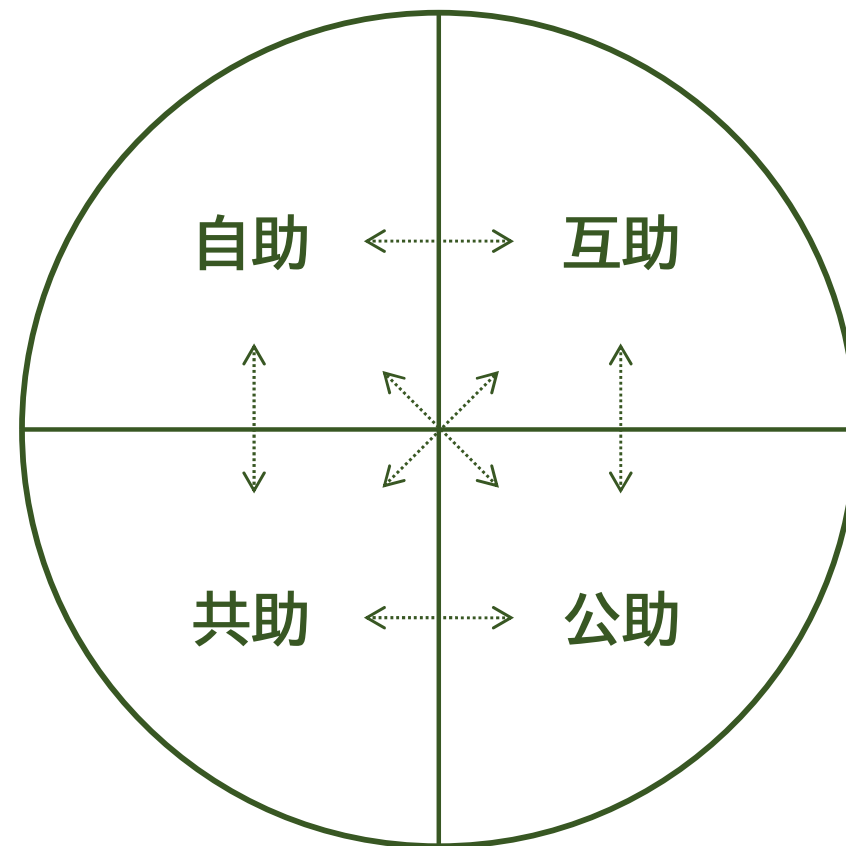


「Sketter」と「スポットワーク」の違い

	Sketter	相違	スポットワーク
業務の切り出し	業務分析、仕分け(細分化)が必要	=	業務分析、仕分け(細分化)が必要
働き方	ボランティア、お手伝い ⇒突き詰めると「業務委託」 ⇒過度な指示、命令とならないよう留意	≠	雇用労働
人員基準	算入できない	≠	要件を満たす者は算入可能
事故対応	プラスロボ社が提供する賠償保険(働き手、利用者、施設備品等)のほか、事業所加入の施設賠償保険での対応も考えられる	≠	働き手は労災適用、事業所加入の施設賠償保険で対応も考えられる
受入れの大変さ	一緒に働く事業所職員の「慣れ」が必要	=	一緒に働く事業所職員の「慣れ」が必要
サービスの質の向上	受け入れ事業所の「使い方」次第	=	受け入れ事業所の「使い方」次第
多様な人材との出会い	学生、生徒も含めた地域の多様な人材との出会い(の可能性)	≠	資格を必要としない業務への従事者確保 ※有資格者系に強い事業所も存在
採用ツールへの活用	可能(雇用労働への転換)	=	可能(長期雇用への転換(直接契約へ))
地域でのイベント性	ある(活動に対する教育機関の単位認定や、活動者「ミーティング」開催など)	≠	労働者確保に特化
利用コスト	定額利用料(月2万円又は3万円) ※第2期トライアルでは従量的利用料設定を試行予定 ※受入れ30回/月を超える水準でスポットワークより優位に	≠	従量課金(時給の30%程度) ※一般的利用においてはSketterに対し優位

「Sketter」は「令和の互助インフラ」を標榜している 地域の「互助」を育てる、という視点

自助	自分自身や家族でできることを 自ら行う ⇒自分のことを自分でする ⇒自らの健康管理（セルフケア） ⇒市場サービスの購入
互助	自分だけでは解決できないことを 地域の中の助け合いで解決 ⇒ボランティア活動 ⇒住民組織の活動
共助	介護保険制度など 制度化された相互扶助で解決 ⇒社会保険制度、及びそのサービス
公助	行政などが行う 公的なサービスを活用して解決 ⇒一般財源による高齢者福祉事業等 ⇒生活保護 ⇒人権擁護・虐待対策



「自助」「互助」「共助」「公助」の
4つを地域の実情に合った形で
バランスよく適切に機能させる
視点が重要